

【様式1】

令和6年度 授業改善推進プラン

東久留米市立第三小学校 第1学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・促音や拗音、長音を正確に書くことに課題がある児童が20%いる。 ・文を書く中で、助詞（「は」「を」「へ」）を正しく表記することに課題がある児童が20%いる。 	<p>学習活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書く前に声を出して発音した文字を確認してから書くようにさせる。 ・間違い探しを取り入れ、ゲーム性をもって意欲的に繰り返し学習させる。 <p>個に応じた指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内で評価の時間を複数回設け、即時評価と個別の支援を行う。 ⇒助詞及び促音や拗音、長音について正しく文章を書けている児童が90%以上を目標とする。 (評価テスト、作文、日記等)
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期末時点で、10までの数のたし算とひき算の計算に課題がある児童が15%いる。 ・文章問題の題意を正しく読み取ることに課題がある児童が20%いる。 ・正しく立式することに課題がある児童が25%いる。 	<p>授業展開の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間の中に類題演習の時間を確保し、評価と指導を繰り返す。 ・既習事項をゲーム性をもって繰り返し確認し、楽しみながら定着を図る。 <p>学習活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童に身近な題材を教材にして、日常化につなげる。 ・分かっているところ、聞かれているところに下線を引いたり、解決の仕方を絵や図に描き表したりする活動を取り入れる。 ・具体物や半具体物を使って取り組む。 ⇒10までのたし算とひき算については2学期中に90%以上の児童が正しく解答できるようにする。 ⇒文章問題の題意の読み取りと立式については、年度末までに85%の児童が正しく解答できるようにする。 (評価テスト、ノート、ワークシート)
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・生活上必要な習慣や技能は身に付いてきている。 ・活動から得た気づきを十分に自覚することに課題がある児童が30%いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のねらいを明確にしながら、学習後に活動をまとめる際に使える言葉などを指導する。そして、思ったことや気付いたことを言語化して、より深い振り返りができるようにする。 ⇒上記手立てにより、活動から得た気づきを自覚できる児童が9割以上になるようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・体全体を使う種目「立ち幅跳び」「反復横跳び」「上体起こし」の校内平均値が、都の平均値より低い。 ・健康に関する意識調査「健康のために、学習したことを生活に役立てているか？」において、肯定的回答が80%であり、学習したことへの日常化に課題がある。 	<p>学習活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種運動遊びの中に、走る・投げる・跳ぶ等の基本的な動きの要素を取り入れ、意欲的に取り組む中で様々な動きを身に付けられるようにする。 <p>個に応じた指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助具の活用や場の設定（簡易化）の工夫により、安心して取り組めるようにする。 <p>まとめ・振り返りの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらいについての振り返りの中で、日常化について扱う。 ⇒全種目での全国平均を目指す。健康に関する意識調査において、肯定的回答を90%にする。